

三次エコツーリズムのモデルコースを大学生が提案

国際協力機構(JICA)では、“ODA の国内還元”の一つの形として開発途上国での現場や事業を通じて蓄積されたノウハウや経験を活かし、地方自治体の課題解決への取り組みを強化しています。JICA 中国では中国 5 県在住の大学生、大学院生、高専生を対象にフィールドワーク合宿を実施し、フィールドワーク参加者が国際協力における問題分析の手法や知識を活かして地域において主体的に地域活性化および多文化共生社会の実現に向けて取り組めるよう能力強化を図っています。

2021 年度は夏に因島(テーマ:外国人材/地域が抱える課題発見・解決)、冬に三次(テーマ:江の川流域エコツーリズム振興)でそれぞれ 9 名の学生向けにフィールドワークを実施しました。三次のフィールドワークでは今年 1 月～3 月にかけて江の川流域でのエコツーリズムモデルコースを検討しました。新型コロナウイルスの感染拡大、まん延防止等重点措置の延長などにより対面での実施が難しく、ほとんどの日程がオンラインでの開催となりましたが、学生たちは 2 案のエコツーリズムモデルコースを作成しました。

作成されたモデルコース 2 案を 3 月 7 日(月)に三次観光協会など、関係者に向けてオンラインで発表いたしました。それを踏まえ、3 月 13 日(日)に参加学生のうち 2 名が三次市上田町のほしはら山のがっこうで、エコツーリズムの顧客となりうる一般市民の反応を伺う機会を設けます。具体的にはほしはら山のがっこうで実施されるふるさと自然体験塾(10 時～15 時)の参加者である親子に同行しながら、自分たちで作成したエコツーリズムのモデルコースについて参加者のニーズ及び改善点の確認を行います。ぜひ学生たちの地域活性化に向けての取り組みを貴メディアでも取り上げていただきたく、ご案内申し上げます。

ご参考:因島・三次でのフィールドワークの様子は以下のサイトで学生たちが発信しております。

<https://note.com/team34>

【本件に関する問い合わせ先】
◆大学生・大学院生・高専生向けフィールドワーク、JICA 事業全般について JICA 中国センター(岩谷) TEL 082-421-6305 E-mail: jicacic-jocv@jica.go.jp
◆ほしはら山のがっこうでの取材について ほしはら山のがっこう(浦田) TEL 0824-69-2888 Email: aiurata@hoshihara.org